

2011年（平成23年）8月14日（日曜日）



放射能対策を説明する仲田代表取締役（左）＝沢田農場

### 仲田種苗園訪れ 放射能対策視察

造園学会関東支部  
石川・矢吹

日本造園  
視察した。

学会関東支部のワーキングチームは十二日、石川町の仲田種苗園を訪問し、放射能対策を

視察した。

チームは東京電力福島第一原子力発電所事故後の土地利用や生活の在り方を研究している。東京の設計事務所代表で同支部幹事の霜田亮祐さん、東京理科大学大の学生五人が参加した。

石川町の沢田農場を視察し、仲田茂司代表取締役から農場の土壌と商品の放射能検査を専門機関に依頼していることなどを聞いた。石川町のお菓子のさかい本店で産学官懇談会に臨み、同社や石川町の取り組みを聞き意見交換した。

今後、チームは同原発から半径二十キロ圏内の警戒区域についての聞き取り調査をする。共に、石川町などの避難区域以外の地域の放射能対策を研究する。

原発事故後に節電の徹底が進みライフスタイルが変わろうとしている東京の暮らし方も調査する。

さん、千葉大、東京農大、東京理科大の学生五人が参加した。

今後、チームは同原発から半径二十キロ圏内の警戒区域についての聞き取り調査をする。共に、石川町などの避難区域以外の地域の放射能対策を研究する。原発事故後に節電の徹底が進みライフスタイルが変わろうとしている東京の暮らし方も調査する。